

○ 背景と目的

- ・日本の大都市におけるスマートシティ事例について、地方公共団体が中心になり取り組んでいる事例に着目
 - ・スマートシティにおける地方公共団体の役割、スマートシティ構想の経緯や内容、進捗状況について整理
- 以上について、調査対象である大阪市及び宇都宮市の担当者にインタビュー調査を実施

○ 結果

- ・スマートシティの実施について、きっかけとなるいわばテーマが存在
- ・地方公共団体などの「公」と、民間企業等の「民」に加えて、大学などの「学」が参加している、スマートシティを推進する組織が存在
- ・スマートシティという語が議会で取りあげられた後に策定された計画や取組では、スマートシティが大きく位置づけられる。

表 大阪市と宇都宮市におけるスマートシティの比較

	大阪市			宇都宮市
	うめきた	夢洲	森之宮	
スマートシティの進捗状況	建設中	着工前	着工前	一部実装
テーマとなる事柄	跡地の再開発	万博の開催	大学キャンパスの新設	LRTの開業
開発対象地域	貨物駅	埋立地	未利用地等	既存市街地等
テーマの構想年	2004年 「大阪駅北地区まちづくり基本計画」策定	2018年 万博開催決定	2020年 「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」策定	2013年 「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」策定
議会初出時期	2015年			2014年